



碧 空

第1号

「たくましい人になるために」 ～平成 29 年度入学始業式辞より（抜粋）～

勝山 幸則

平成 29 年度がスタートしました。本年度もご協力よろしくお願いたします。

新しい自分を創るために、中学校生活で大事にしてほしいこととお話します。

それは、「毎日を記念日」にしてほしいということです。「記念日？」と、不思議に思う人もいるかもしれませんが、例えば今日、家に帰った皆さんはきっと「中学校生活初日、緊張したけれど、自分としては精一杯できた。いい中学校生活をスタートできたな。」と感じると思います。その時は、今日を「中学校生活スタート記念日」とするということです。

この他にも、友達や先生から「やさしい心の持ち主ですね」と褒められたら、その日を「優しさ記念日」にしたり、英語の授業で「君の発音は素晴らしいですね」と、褒められた時は、「発音記念日」にしたりすることです。

このように、生活の中で達成できたり、感動したり、納得したりしたことを記念日にし、皆さん一人ひとりの「心のカレンダー」に書き込んでほしいと思います。

今日から始まる常盤中学校の生活、皆さんは様々な経験を積んでいくこととなります。嬉しいこと、辛いことなどいろいろなことがあることでしょう。その時は、嬉しかったことや頑張れたことを集めて、三年間で心のカレンダーを一杯にできることを期待しています。

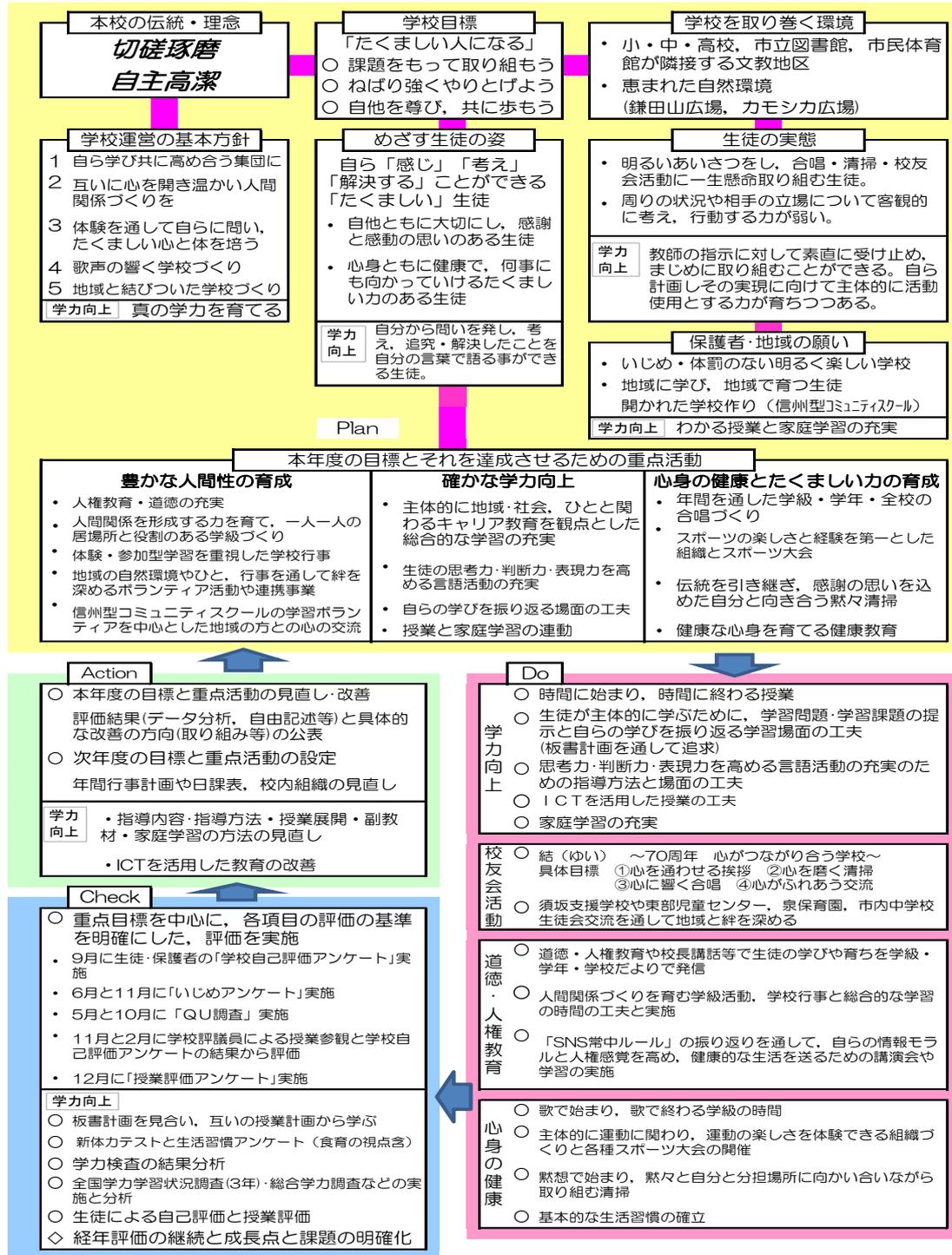
続いて、2・3年生の皆さん進級おめでとうございます。今日から345名*の常盤中学校、平成29年度の一学期が始まります。一学期は、入学と進級を機に新しい仲間を迎え、この一年間の目標を決める時です。皆さんは、学校目標「たくましい人になる」を目指して、努力を重ね、今日まで成長し続けてきています。さらに、その努力が実を結ぶための、目標が持てるために話しをします。

それは、人を大事にするということです。先日ある新聞に、この3月に長野市の中学校を卒業した先輩が投稿した記事が掲載されました。その中に「中学校3年間振り返るとたくさんの方があったなと思います。よく考えているうちに、『あの人がいなかったら、今の自分はない』という意味がわかった気がします。2、3年生では、先輩という立場で進めていかなければならないことが増えました。何度か悩むこともあったけど、それを乗り越えてきたから少し強くなった自分がいます。それは、決して自分の力ではなく、みんなの支えがあつての今なんだと実感しています。」と書かれていました。困っているあなたに、仲間がかけてくれた言葉がどれだけ温かく、うれしく感じたことでしょうか。また、あなたが、仲間にかけて言葉で、どれだけの仲間を救ってくれていることでしょうか。皆さん、一人ひとり感じ方も、考え方も、生き立ちも異なっています。だからこそ、その人の素晴らしさを感じながら、一緒に歩いてほしいと思います。

さて、本年度は、常盤中学校創立70周年を迎えます。9月に予定されている常盤祭に併せて、記念式典を挙げる予定です。本校を巣立った、12,563名の先輩たちが育ててきた常盤中学校の「今」と「未来」を、全校で考えていく年となります。そのためにも、皆さん一人ひとりが、常盤中学校の生徒として、胸を張って学校生活を送ることを期待しています。

※5月1日現在 1名転出したため344名です。

○平成 29 年度 常盤中学校グランドデザインを紹介します



グランドデザインには、常盤中学校がどのような子どもを育てたいと考えているか、そのために我々教職員が何を大切に行っているのか示してあります。保護者の信州方コミュニティスクール「常中子ども応援団」もスタートしました。保護者の方々、地域の方々のご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



○今年度 着任した先生方です。よろしくお願いいたします

教職員	前任校	担当	教科
桑原 清	麻績村筑北村学校組合立 筑北中学校	2年4組担任・生徒指導主事 副教務主任	保健体育
宮下 正満	須坂市立墨坂中学校	1学年副担任	数学
山田 千秋	山ノ内町立山ノ内中学校	1年1組担任	家庭
宮澤 理恵	—	不登校支援	—
岡沢 徳子	須坂市立墨坂中学校	教員補助員	—
ブライアン・バートン	—	ALT	—